

平成27年度 第2回「越前市地域公共交通会議」

議事次第

日 時：平成28年2月9日(火) 14:00～

会 場：生涯学習センター4階 第一講義室

I 【会長あいさつ】

II 【報告事項】

(1) 地域公共交通の利用実績について

- ① 福井鉄道 福武線について <資料1>
- ② 福井鉄道 路線バスについて <資料2>
- ③ 市民バス のろっさについて <資料3>

(2) アンケート調査結果について

- ① 市民バス利用者向け調査結果 <資料4>
- ② 調査時の意見内容 (一覧) <資料5>
- ③ 市民バス非利用者向け調査結果 <資料6>

III 【協議事項】

平成29年度ルート・ダイヤ改正に関する主な検討内容

- (1) ルート・ダイヤ改正に関するスケジュール <資料7>
- (2) 市民バス市街地循環ルートと郊外ルートの
改正内容検討について <資料8>
- (3) 越前市と鯖江市の接続の検討について <資料9>

以上

平成27年度福井鉄道福武線 月別乗車人員

(単位:人、%)

	26年度			27年度					増 減				各月までの 累計の増減					
	定期	定期外	計	通勤	通学	定期計	定期外	計	通勤定期	通学定期	定期外	計						
4月	80,456	77,243	157,699	26,066	59,360	85,426	85,230	170,656	1,084	104.3	3,886	107.0	7,987	110.3	12,957	108.2	12,957	108.2
5月	87,360	82,116	169,476	26,346	66,348	92,694	82,197	174,891	548	102.1	4,786	107.8	81	100.1	5,415	103.2	18,372	105.6
6月	84,704	70,723	155,427	25,744	64,386	90,130	74,711	164,841	718	102.9	4,708	107.9	3,988	105.6	9,414	106.1	27,786	105.8
7月	80,988	78,289	159,277	26,344	59,178	85,522	80,621	166,143	50	100.2	4,484	108.2	2,332	103.0	6,866	104.3	34,652	105.4
8月	72,236	79,246	151,482	26,070	50,986	77,056	83,035	160,091	718	102.8	4,102	108.7	3,789	104.8	8,609	105.7	43,261	105.5
9月	76,662	74,660	151,322	26,112	56,876	82,988	75,264	158,252	1,534	106.2	4,792	109.2	604	100.8	6,930	104.6	50,191	105.3
10月	81,874	81,845	163,719	27,852	62,018	89,870	81,126	170,996	2,788	111.1	5,208	109.2	△ 719	99.1	7,277	104.4	57,468	105.2
11月	81,056	75,771	156,827	26,582	60,676	87,258	74,790	162,048	2,386	109.9	3,816	106.7	△ 981	98.7	5,221	103.3	62,689	105.0
12月	83,186	90,483	173,669	26,602	59,890	86,492	80,056	166,548	1,798	107.2	1,508	102.6	△ 10,427	88.5	△ 7,121	95.9	55,568	104
1月	87,022	79,621	166,643			0		0										
2月	75,634	78,268	153,902			0		0										
3月	70,748	104,359	175,107			0		0										
累計	961,926	972,624	1,934,550	237,718	539,718	777,436	717,030	1,494,466										

※H27利用目標:1,936,000人

(参考)

(単位:人、%)

	25年度			26年度					増 減				各月までの 累計の増減					
	定期	定期外	計	通勤	通学	定期計	定期外	計	通勤定期	通学定期	定期外	計						
4月	77,016	82,563	159,579	24,982	55,474	80,456	77,243	157,699	1,060	104.4	2,380	104.5	△ 5,320	93.6	△ 1,880	98.8	△ 1,880	98.8
5月	86,334	88,410	174,744	25,798	61,562	87,360	82,116	169,476	1,406	105.8	△ 380	99.4	△ 6,294	92.9	△ 5,268	97.0	△ 7,148	97.9
6月	82,942	71,831	154,773	25,026	59,678	84,704	70,723	155,427	1,610	106.9	152	100.3	△ 1,108	98.5	654	100.4	△ 6,494	98.7
7月	78,406	79,745	158,151	26,294	54,694	80,988	78,289	159,277	1,436	105.8	1,146	102.1	△ 1,456	98.2	1,126	100.7	△ 5,368	99.2
8月	67,240	80,703	147,943	25,352	46,884	72,236	79,246	151,482	1,506	106.3	3,490	108.0	△ 1,457	98.2	3,539	102.4	△ 1,829	99.8
9月	73,630	74,779	148,409	24,578	52,084	76,662	74,660	151,322	650	102.7	2,382	104.8	△ 119	99.8	2,913	102.0	1,084	100.1
10月	79,414	85,160	164,574	25,064	56,810	81,874	81,845	163,719	794	103.3	1,666	103.0	△ 3,315	96.1	△ 855	99.5	229	100.0
11月	78,988	80,356	159,344	24,196	56,860	81,056	75,771	156,827	896	103.8	1,172	102.1	△ 4,585	94.3	△ 2,517	98.4	△ 2,288	99.8
12月	81,560	83,706	165,266	24,804	58,382	83,186	90,483	173,669	746	103.1	880	101.5	6,777	108.1	8,403	105.1	6,115	100.4
1月	84,156	82,051	166,207	24,840	62,182	87,022	79,621	166,643	890	103.7	1,976	103.3	△ 2,430	97.0	436	100.3	6,551	100.4
2月	72,460	72,722	145,182	22,366	53,268	75,634	78,268	153,902	568	102.6	2,606	105.1	5,546	107.6	8,720	106.0	15,271	100.9
3月	65,204	92,305	157,509	24,748	46,000	70,748	104,359	175,107	1,390	106.0	4,154	109.9	12,054	113.1	17,598	111.2	32,869	101.7
計	927,350	974,331	1,901,681	298,048	663,878	961,926	972,624	1,934,550	12,952	104.5	21,624	103.4	△ 1,707	99.8	32,869	101.7		

■越前市内を運行している路線バスについて

■路線の概要 1

	起 点	経 由 地	終 点	利 用 目 的
武生越前海岸線	越前武生駅	八田・織田	かれい崎	越前町から越前市内各高校への通学、通勤及び通院・買物
池田線	越前武生駅	入谷・稲荷・和紙の里	越前武生駅	池田町から越前市内各高校への通学及び生活路線(通院・買物)、武生高池田分校への通学路線
南越線	シビイ	越前武生駅・武生東高	和紙の里	武生駅(JR・福武線)～東高への通学及び今立地区～旧武生市街地間の通勤及び生活路線(通院・買物)
王子保河野海岸線	越前武生駅	妙法寺口・松森・JR王子保駅	糠長島	南越前町からの越前市内への各高校への通学及び生活路線(通院・買物)
武生越前海岸線(安養寺線)	越前武生駅	陶芸館・織田	越前岬	越前町及び安養寺地区から越前市内各高校への通学及び通勤
白山線	越前武生駅	菖蒲谷・土山	千合谷	白山地区～旧武生市街地間の通勤・通学及び生活路線(通院・買物)
池田線(入谷線)	越前武生駅	味真野・	入谷	味真野地区～旧武生市街地間の通勤及び生活路線(通院・買物)
南越線(赤坂線)	シビイ	越前武生駅・武生東高・和紙の里	赤坂	武生駅(JR・福武線)～東高への通学及び今立地区～旧武生市街地間の通勤

■路線の概要 2

H27年度

	路線距離 km	運行回数 回	乗降客数 人	前年比 %	補助
武生越前海岸線	33.8	5.4	85,540	98.5%	国・県・市町
池田線	52.4	5.0	34,372	98.5%	国・県・市町
南越線	12.9	8.0	58,001	98.5%	国・県・市町
王子保河野海岸線	25.2	3.8	26,438	98.9%	国・県・市町
武生越前海岸線(安養寺線)	31.3	1.0	14,550	100.0%	県・市町
白山線	17.9	1.7	8,265	97.1%	市町
入谷線	13.6	2.8	9,131	99.6%	市町
南越線(赤坂線)	13.4	1.0	2,106	99.1%	市町

■現況と課題

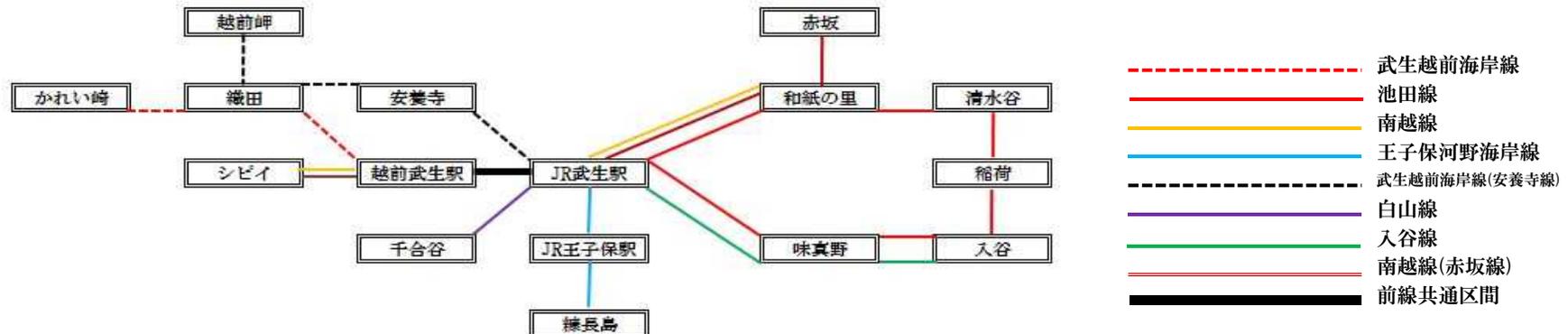
*現況

- ・運賃収入の柱となる学生の通学定期及び通勤定期利用者恒常的に減少傾向。
- ・市民バスも含めバス時間に合わせた生活スタイルの構築は定着してきている。特に福祉バス制度利用者に定着。
- ・少子化及び運転免許なしの高齢者の減少。

*課題

- ・高いマイカー依存度打破に向けた有効な利用喚起策が不明確。※マイカー規制区間設置。
- ・利用者のニーズに応えるための施策(増便・運賃の低減等)の推進には、経費増や法的制約等のリスク・制限が伴うため、収入減が続く現況下の対応に限界がある。
- ・安全・サービス面における利用客からの信頼の獲得によるコミュニティバスを含めた公共交通利用活性化策の創出。

■路線図



■事業の今後の改善点

- 高校生(中学生)を対象とした割引定期券について自治体・学校を通じて利用促進を図る。
- 高齢者を対象とした割引定期券について自治体・高齢者団体を通じて利用促進を図る。
- 利便性向上に向けた「フリー乗降」の新設・増設を図る。
- 地域との意見交換を行い公共交通のより一層の充実を図る。(路線経路の見直し、停留所の増設・移設等)
- 地域のイベント等に参加して「路線バスの乗り方教室」の開催で広報活動を行い利用促進を図る。
- 地区・町内単位で実際の路線バス乗車体験を実施して理解と利用促進を図る。

市民バスの平成27年度 第3四半期までの利用状況

1. 年度別利用者数の推移

平成27年度と平成26年度の第3四半期までの比較について、武生エリアにおいては5.6%の増加、今立エリアにおいては17.8%の減少、全体としては1.9%の増加となった。

2. ルート別利用者数の推移

前年度と比較して利用者数が増加したルートは、市街地循環北ルート、市街地循環南ルート、吉野・大虫ルート、坂口・神山ルート、国高・北日野ルート、味真野・北新庄ルートの6ルートであった。特に国高・北日野ルートについては、前年度比で14%以上、続いて吉野・大虫ルート、坂口・神山ルートが9%以上の伸び率であった。

今立ルートの利用者数については、3ルート全てにおいて前年度を下回り、特に服部ルートでは20%以上利用者が減少となった。

3. 各ルートの月別、ダイヤ別利用状況

(1) 市街地循環北ルート

- ・ 月毎の利用者数について、8月と10月以外はすべて前年度を上回った。
- ・ ダイヤ毎の利用者数について、第2便、6便、7便以外はすべて前年度を上回り、第2便の利用者が一番多く、前年度比の伸び率は第4便が一番高い。

(2) 市街地循環南ルート

- ・ 月毎の利用者数について、12月以外はすべて前年度を上回った。
- ・ ダイヤ毎の利用者数について、第7便以外はすべて前年度を上回り、第2便の利用者が一番多く、前年度比の伸び率は第1便が一番高い。

(3) 吉野・大虫ルート

(吉野編)

- ・ 月毎の利用者数について、4月と9月以外はすべて前年度を上回った。
- ・ ダイヤ毎の利用者数について、すべての便において前年度を上回り、第1便の利用者が一番多く、前年度比の伸び率は第3便が一番高い。

(大虫編)

- ・ 月毎の利用者数について、4月、6月、7月、8月、10月の5か月分が前年度を上回った。
- ・ ダイヤ毎の利用者数について、第2便と第3便が前年度を上回り、第1便の利用者が一番多く、前年度比の伸び率は第3便が一番高い。

(4) 坂口・神山ルート

- ・ 月毎の利用者数について、7月と8月以外はすべて前年度を上回った。
- ・ ダイヤ毎の利用者数について、すべての便において前年度を上回り、第1便の利用者が一番多く、前年度比の伸び率は第2便が一番高い。

(5) 王子保・南ルート

- ・ 月毎の利用者数について、前年度を上回ったのは、4月、7月、8月、11月の4か月分で、第3四半期までの利用者数の合計は前年度を下回った。
- ・ ダイヤ毎の利用者数について、第1便と第3便が前年度を上回り、第1便の利用者が一番多かった。

(6) 国高・北日野ルート

(国高編)

- ・ 月毎の利用者数について、7月、9月、10月、11月、12月の5か月分が前年度を上回った。
- ・ ダイヤ毎の利用者数について、第4便以外はすべて前年度を上回り、第1便の利用者が一番多かった。また、第3便と第4便について、前年度は利用者数に差があったが今年度ではそれほど大きな差は見られなかった。

(北日野編)

- ・ 月毎の利用者数について、8月と11月以外はすべて前年度を上回った。
- ・ ダイヤ毎の利用者数について、第1便以外はすべて前年度を上回り、第1便の利用者が一番多く、伸び率は第2便が一番高かった。

(7) 味真野・北新庄ルート

- ・ 月毎の利用者数について、8月、9月、10月以外はすべて前年度を上回った。
- ・ ダイヤ毎の利用者数について、第1便と第2便が前年度を上回り、第1便の利用者数が一番多く、伸び率も一番高かった。

(8) 白山・大虫ルート

- ・ 月毎の利用者数について、4月、5月、7月、11月以外はすべて前年度を上回るも、第3四半期までの利用者数は前年度を下回った。
- ・ ダイヤ毎の利用者数について、第1便と第2便が前年度を上回り、第1便の利用者数が一番多かった。

(9) 月尾ルート

- ・ 月毎の利用者について、7月のみが前年度を上回った。
- ・ ダイヤ毎の利用者数について、第4便と第5便のみが前年度を上回り、第1便の利用者数が一番多かった。

(10) 水間ルート

- ・ 月毎の利用者数について、4月、6月のみが前年度を上回った。
- ・ ダイヤ毎の利用者数について、第1便のみが前年度を上回り、かつ利用者数が一番多かった。

(11) 服部ルート

- ・ 月毎の利用者について、10月と11月のみが前年度を上回った。
- ・ ダイヤ毎の利用者数について、第5便のみが前年度を上回り、第2便の利用者数が一番多かった。

市民バス利用者向け調査結果

1. 対象路線 全11路線
 2. 実施期間 平成27年10月26日～平成27年12月28日
 3. 実施方法 職員が市民バスに乗車し、聞取りのアンケート調査を実施。
 4. 調査票 別紙のとおり

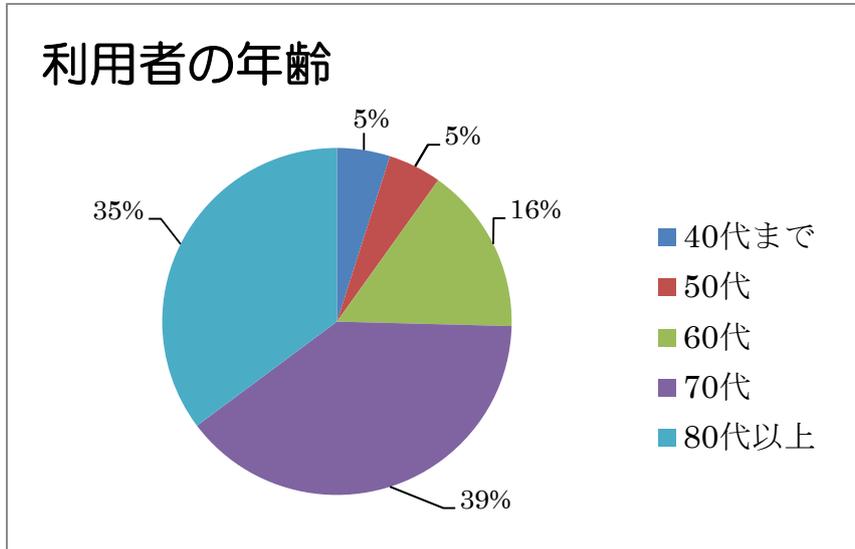
5. 回収枚数 122枚

路線名	回収枚数	乗車回数
市街地循環北ルート	22	6
市街地循環南ルート	26	6
吉野・大虫ルート（吉野編）	9	2
吉野・大虫ルート（大虫編）	3	2
坂口・神山ルート	11	2
王子保・南ルート	8	2
国高・北日野ルート（国高編）	3	2
国高・北日野ルート（北日野編）	2	2
味真野・北新庄ルート	9	2
白山・大虫ルート	12	2
月尾ルート	3	3
水間ルート	10	3
服部ルート	4	2
合計	122	36

6. 結果表 別紙1参照

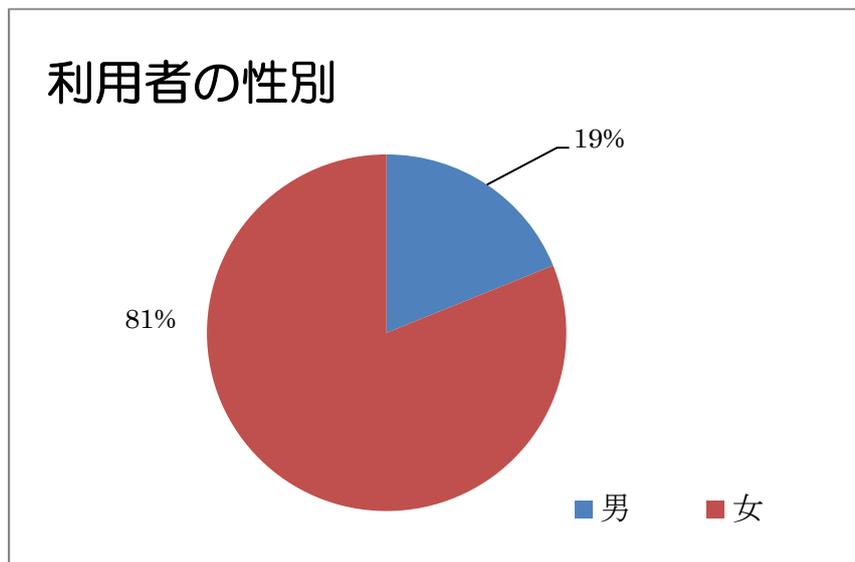
(1) 市民バス利用者の年齢

- ・利用者の中で一番多い年代は70代で39%、次いで80代以上で35%であった。
40代と50代はそれぞれ5%であり、少ない割合であった。



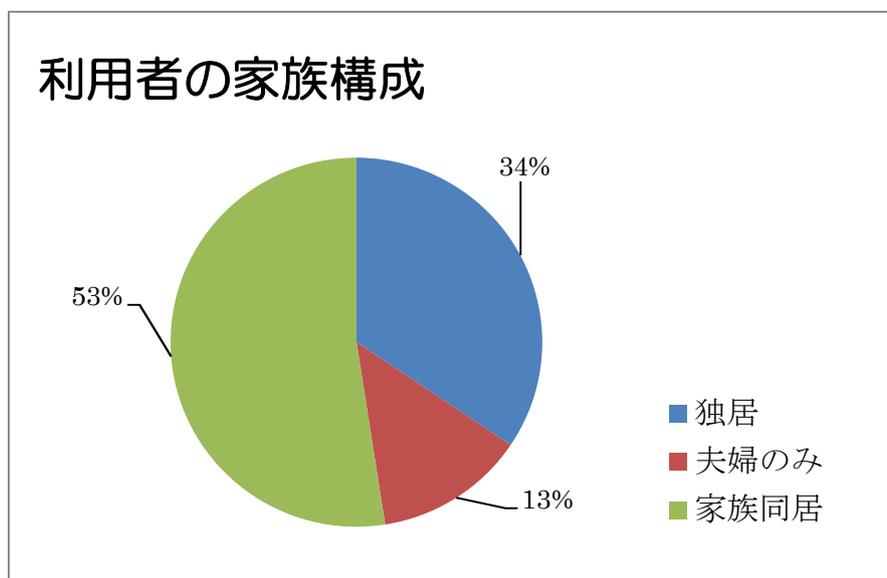
(2) 市民バス利用者の性別

- ・利用者の性別では、女性が81%であった。



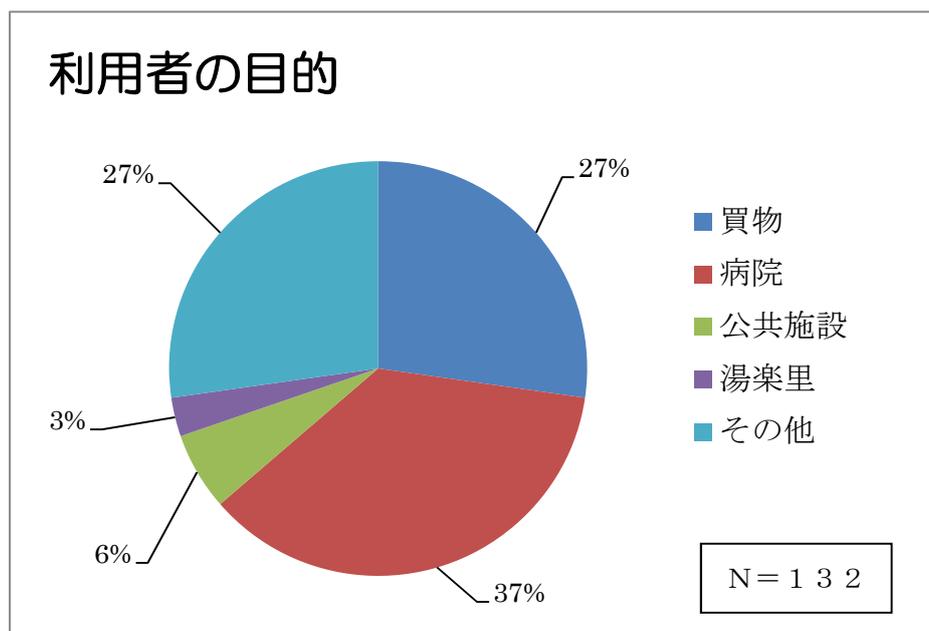
(3) 利用者の家族形態

- ・「独居」と回答した利用者は34%、「夫婦のみ」と回答した利用者は13%となり、合計が全体の約半分を占めた。



(4) - 1 市民バスの利用目的

- ・市民バスを利用する目的は、「通院」のためが最も多く37%、次いで「買い物」のためで27%であった。

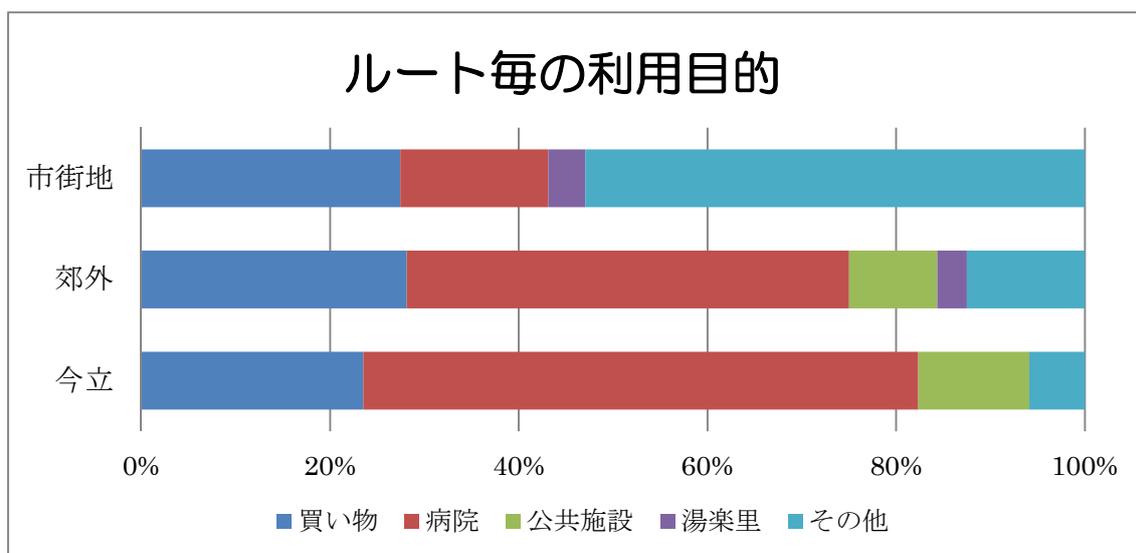


(4) - 2 ルート毎の利用目的

- ・市街地循環ルートでは買い物を目的に利用する人が最も多く、次いで通院のために利用する人が多い。その他の目的に関する利用者について、「通勤・通学」が56%、「趣味」が19%、「観光」が4%であった。
- ・郊外ルート、今立ルートでは、全体の利用目的の割合同様、「通院」を目的に利用する人が最も多く、次いで「買い物」が多かった。

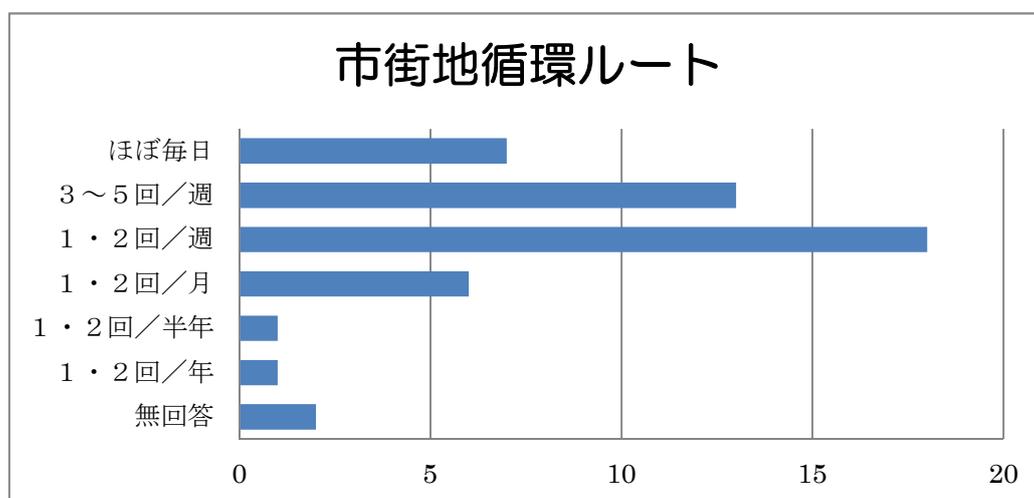
※「趣味」…体操教室（福祉健康センター）、入浴、美容院

※「観光」…菊人形、OSK



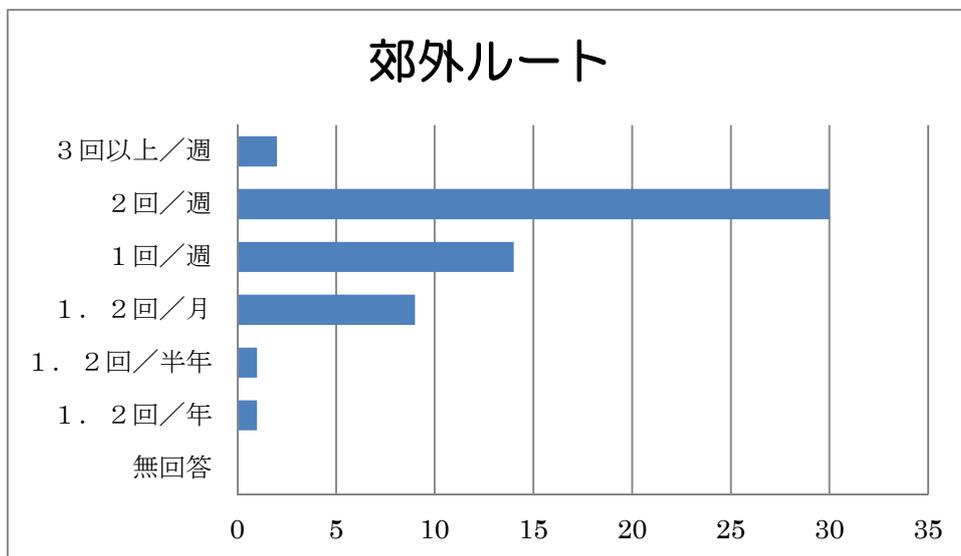
(5) - 1 市民バスの利用頻度（市街地循環ルート）

- ・市民バスの利用頻度は、「週に1・2回利用する」が最も多く、次いで「週に3～5回利用する」が多い。
- ・週に1回以上利用する人は79%であった。



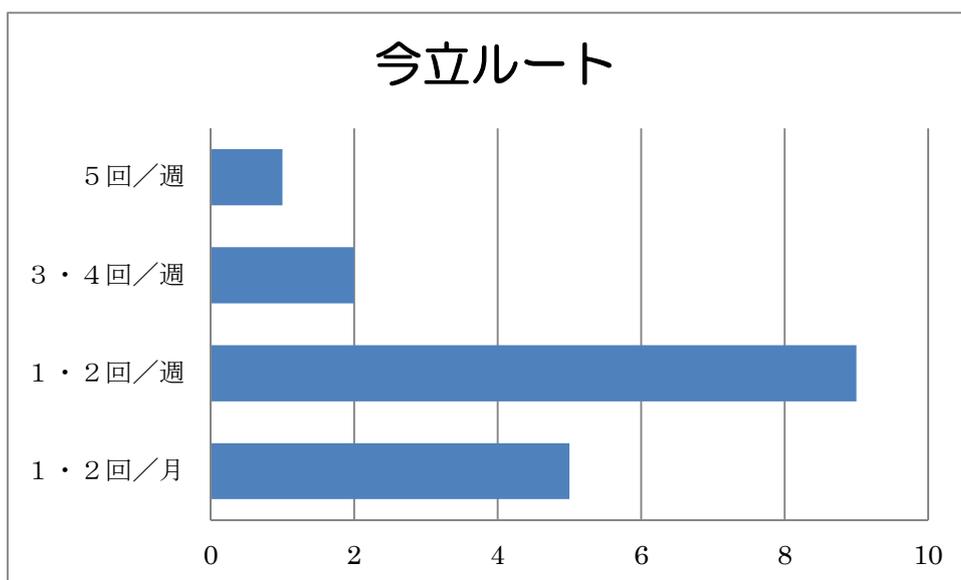
(5) - 2 市民バスの利用頻度 (郊外ルート)

- ・市民バスの利用頻度は、「週に2回利用する」が最も多く、次いで「週に1回利用する」が多い。
- ・週に1回以上市民バスを利用する人は81%であった。



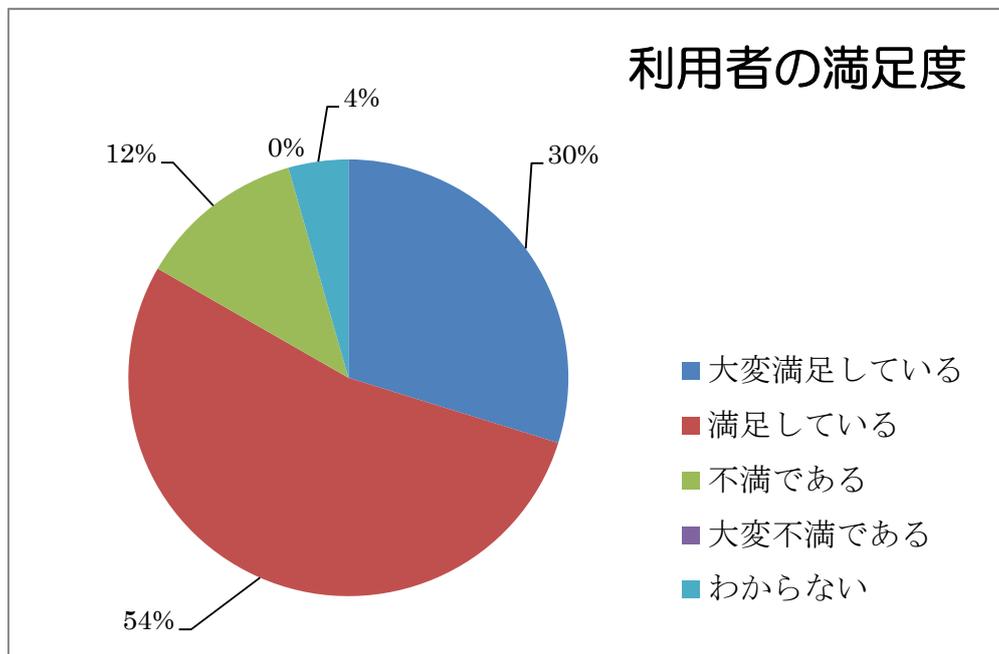
(5) - 3 市民バスの利用頻度 (今立ルート)

- ・市民バスの利用頻度は、「週に1・2回利用する人」が最も多く、次いで「月に1・2回利用する人」が多い。



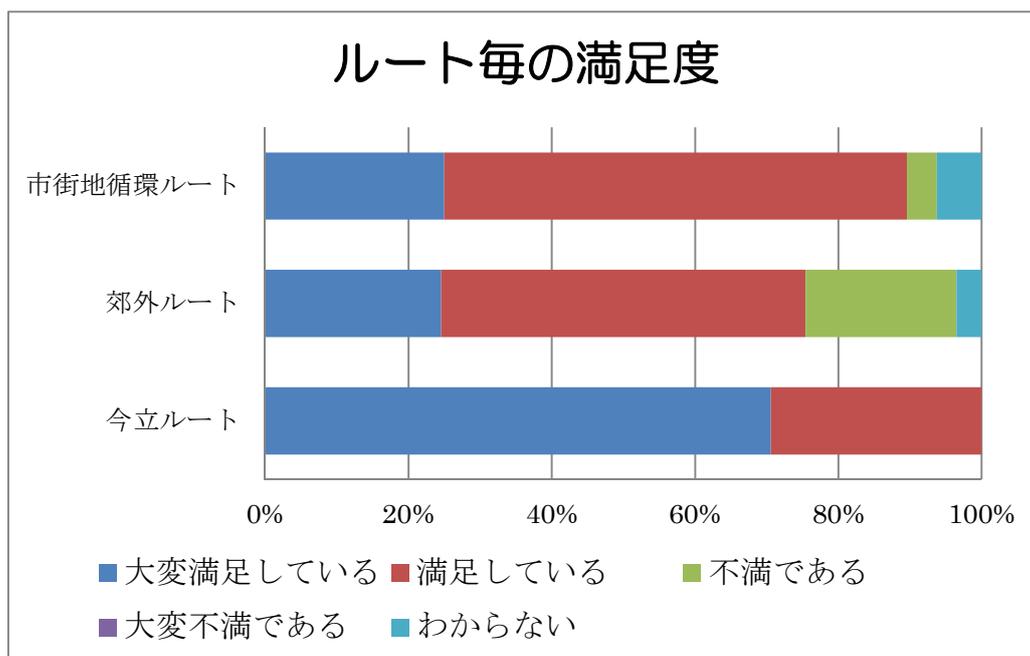
(6) - 1 利用者の満足度

- ・「大変満足している」、「満足している」の合計が全体の8割以上であった。
- ・大変不満であるについては0%であった。



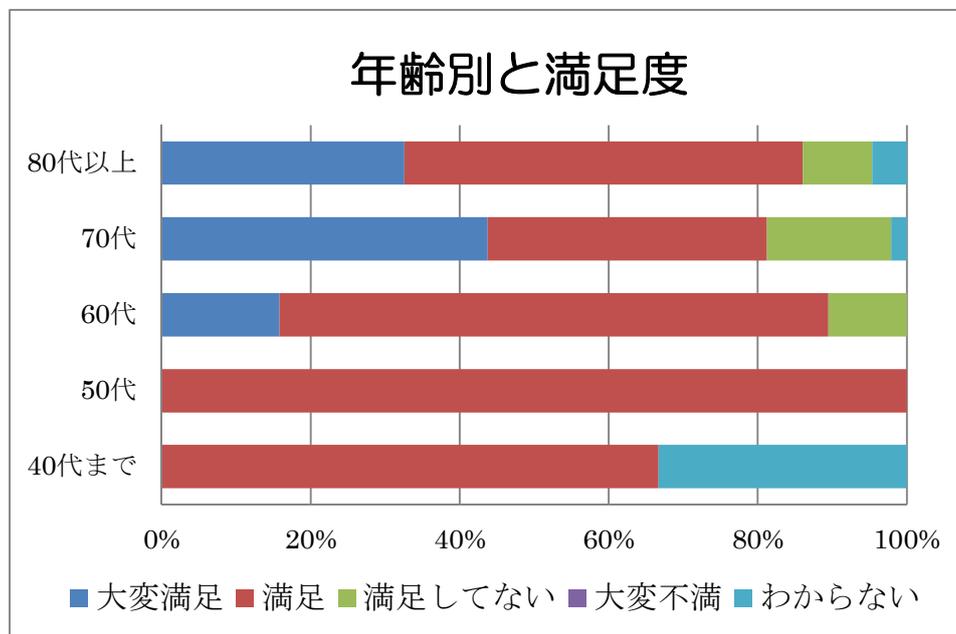
(6) - 2 ルート毎の満足度

- ・満足していると回答している割合は、市街地循環ルートで90%、郊外ルートで75%、今立ルートで100%であった。



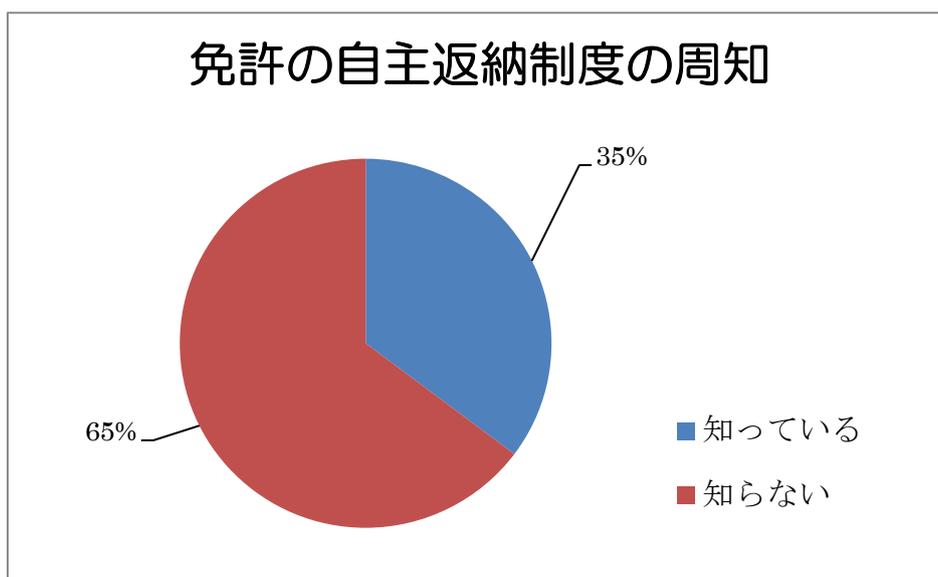
(6) - 3 利用者の満足度

- ・ 50代以上（50代、60代、70代、80代以上）では、市民バスに「大変満足している」「満足している」と回答した利用者の合計が8割を超えた。



(7) 自主返納支援事業の周知状況

- ・ 運転免許自主返納支援事業を知っている人は35%であった。



①循環北 ②循環南 ③吉野・大虫 ④坂口・神山 ⑤王子保・南 ⑥国高・北日野 ⑦味真野・北新庄 ⑧白山・大虫
 ⑨月尾 ⑩水間 ⑪服部

路線名	ルート	便数	第 便
実施日	平成 27 年 月 日	記入者	

■市民バスを利用する目的は何ですか？ 例：①買い物（アルプラザ）

- ①買い物（ ） ②病院（ ） ③公共施設（ ）
 ④湯楽里 ⑤その他（ ）

■本日は、どこの停留所から乗車し、どこで降りますか？

乗った停留所 < _____ > 降りる停留所 < _____ >

■自宅から最寄の停留所まで何mくらいありますか？また、どこに停留所を新設すると便利だと思いますか？

最寄の停留所まで（ ） m 新停留所の設置希望場所（ ）

■本日、帰りは何時のバスに乗る予定ですか？

本日の帰りの時間 < _____ 時 _____ 分 >

■どのくらい市民バスを利用されますか？

- ①週に2回以上（ _____ 回/週） ②週に1回 ③月に1・2回 ④半年に1・2回
 ⑤1年に1・2回 ⑥その他（ _____ ）

■おもに何曜日に市民バスを利用されますか？

- ①月曜日 ②火曜日 ③水曜日 ④木曜日 ⑤金曜日 ⑥土曜日

■運転免許を自主返納すると、市民バスの無料乗車券が交付されることを知っていますか？

- ①知っている ②知らない

■現在の市民バスを利用してどう感じていますか？

- ①大変満足している ②満足している ③満足していない ④大変不満である ⑤わからない

■市民バス以外に利用している交通手段があれば教えてください？

- ①自家用車（自分で運転） ②自家用車（家族等の送迎） ③タクシー ④JR ⑤福井鉄道電車
 ⑥路線バス ⑦自転車 ⑦その他（ _____ ） ⑧ない

■その他市民バスを利用してお気付きの点がありましたら、ご自由にお書きください。

.....

①循環北 ②循環南 ③吉野・大虫 ④坂口・神山 ⑤王子保・南 ⑥国高・北日野 ⑦味真野・北新庄 ⑧白山・大虫
 ⑨月尾 ⑩水間 ⑪服部

■最後に、あなた自身についてお伺いします。

お住まいの地区	東・西・南・神山・吉野・国高・大虫・坂口・王子保・ 北日野・北新庄・味真野・白山・粟田部・岡本・南中山・服間
年 齢	①40代まで ②50代 ③60代 ④70代 ⑤80代以上
性 別	① 男 ② 女
自分で自由に 使える車の有無	① 持っている ② 持っていない
家族等による送迎の 可能性の有無	① 送迎を頼める人がいる ② 送迎を頼める人がいない
世帯形態	①一人暮らし ②夫婦のみ ③家族と同居

お答えいただいた内容については、統計的に処理し本調査の目的以外には使用いたしません。
 ご協力ありがとうございました。 越前市 企画部 まちづくり・交通対策課

聞き取り調査での各ルートに対する意見について（一覧）

1. 市街地循環北ルート

<p>①運行本数の増便について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間に1本走らせてほしい。 ・15時から夕方にかけて1時間に1本走らせてほしい。 ・月曜日から日曜日、週7日間バスを運行させてほしい。
<p>②バス停留所の新設とルートの変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーツ前に停留所を設置してほしい。
<p>③その他公共交通機関との乗換の調整について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRとの接続時間を調整してほしい。

2. 市街地循環南ルート

<p>①運行本数の増便について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日から日曜日、週7日間バスを運行させてほしい。
<p>②バス停留所の新設とルートの変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯楽里まで乗り換えなしでバスを走らせてほしい。 ・迂回箇所を少なくしてほしい。 ・藤の木団地までルートを延伸しバス停を設置してほしい。 ・岩堀病院前（付近）、バロー前に停留所の新設とそれに伴うルートを変更してほしい。（病院、買い物施設へ行きやすいルートの設定） ・カメラのキタムラ前に停留所を新設してほしい。
<p>③その他公共交通機関との乗換の調整について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のろっさ国高編の第3便と、循環北の接続を調整してほしい。
<p>④その他について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地でのフリー乗降制度を導入してほしい。 ・バス車内の電光掲示板が次の停留所しか表示されないためわかりやすくしてほしい。

3. 吉野・大虫ルート

①運行本数の増便について ・1便増やしてほしい。 ・14時、15時台の便をもう1便増やしてほしい。
②バス停留所の新設とルートの変更について ・片屋町の公園にバス停を移設してほしい。 ・西小学校前の停留所を相木病院前に移設し、ルートも変更してほしい。
③その他公共交通機関との乗換の調整について ・JRとの接続を調整してほしい。
④運行時間の調整について ・市役所前に13時30分ごろ到着となるような時間を調整してほしい。

4. 坂口・神山ルート

①運行本数の増便について ・1便増加してほしい。 ・14時、15時台の便をもう1便増加してほしい。
②バス停留所の新設とルートの変更について ・福田胃腸外科前にバス停の新設とそれに伴うルート変更してほしい。 ・片屋町の公園にバス停の移設とそれに伴うルート変更してほしい。 ・西小学校前の停留所を相木病院前へ移設とそれに伴うルート変更してほしい。
③その他公共交通機関との乗換の調整について ・JRとの接続の調整してほしい。

5. 王子保・南ルート

①その他について ・回数券のお買物券について、より使い勝手よいものに改良してほしい。 (まちなかの商店街や、アルプラザの衣料品関係の割引制度)

6. 国高・北日野ルート

①ルート変更とバス停留所の新設について ・錦町、万代町へのバス停新設とそれに伴うルート変更してほしい。
②運行時間の調整 ・第2便と第3便の間隔が狭く、郊外の商店での買い物時間が短いため、運行時間を調整してほしい。

7. 味真野・北日野ルート

①運行本数の増便について ・運行回数と便数を増やしてほしい。 ・週2日から3日に運行日数を増やしてほしい。
②運行時間の調整について ・第3便、4便の運行時間を早めてほしい。 ・第2便を早くしてほしい。
③その他について ・運転手について、乗客に対してもう少し親切に接してほしい。

8. 白山・大虫ルート

①バス停留所の新設とルートの変更について ・安養寺保育園前にバス停の新設とそれに伴うルート変更してほしい。
--

9. 月尾ルート

①運行時間の調整について ・帰りのバスの時間の間隔が広すぎる。

10. 水間ルート

①運行本数の増便について ・増便と、土曜日・日曜日でもバスを運行させてほしい。
②近隣市との接続について ・「赤坂」停留所から鯖江市へ接続してほしい。

11. 服部ルート

①その他公共交通機関との乗換の調整について ・路線バス（福祉バス）との接続時間を調整してほしい。
②近隣市との接続について ・「領家」停留所から鯖江市方面へ接続してほしい。

市民バス非利用者向け調査結果

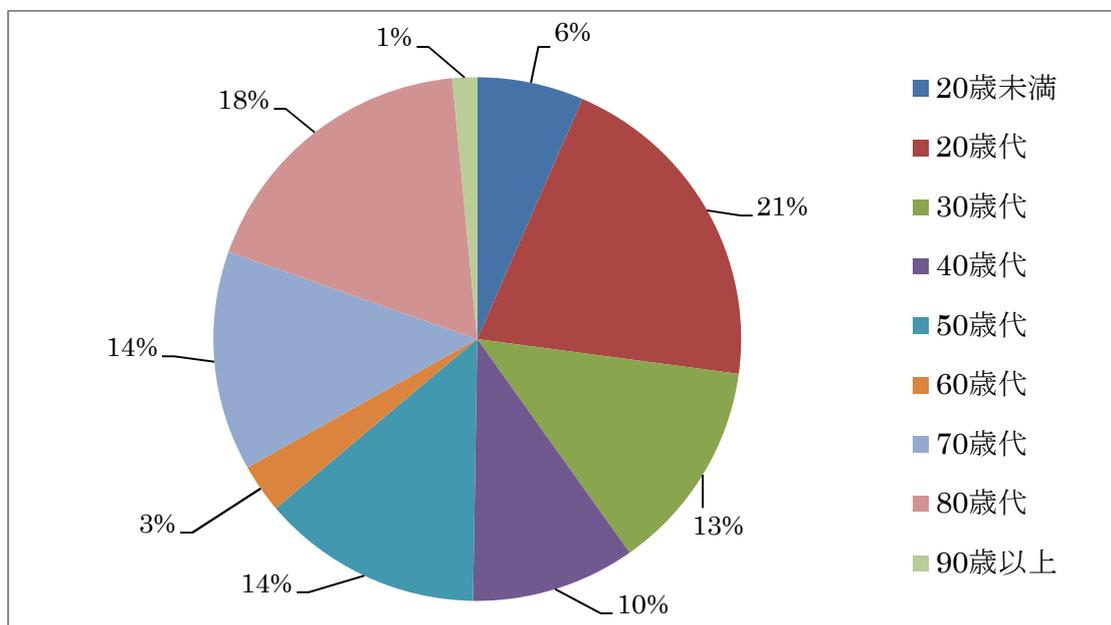
1. 対象者 ・市街地への通勤者と通学生
 ・旧今立町のいきいきシニアクラブ参加者（高齢者）
2. 実施期間 平成27年11月～平成27年12月
3. 実施方法 ・市街地の官公庁及び看護学校にアンケートを配布し、通勤者及び通学生にアンケートの回答を依頼し、後日回収。
 ・いきいきシニアクラブの活動日に合わせてその場でアンケートの回答を依頼し、即日回収。
4. 調査票 別紙のとおり
5. 回収枚数 199枚

施設名	回収枚数
福井県丹南農林総合事務所	10
福井南越合同庁舎	7
福井県丹南・敦賀新幹線用地事務所	10
福井県丹南土木事務所	12
福井地方法務局 武生支局	9
武生税務署	17
武生郵便局	14
武生看護専門学校	51
いきいきシニアクラブ	69
合計	199

6. 結果表 別紙2参照

(1) 調査対象者の年齢

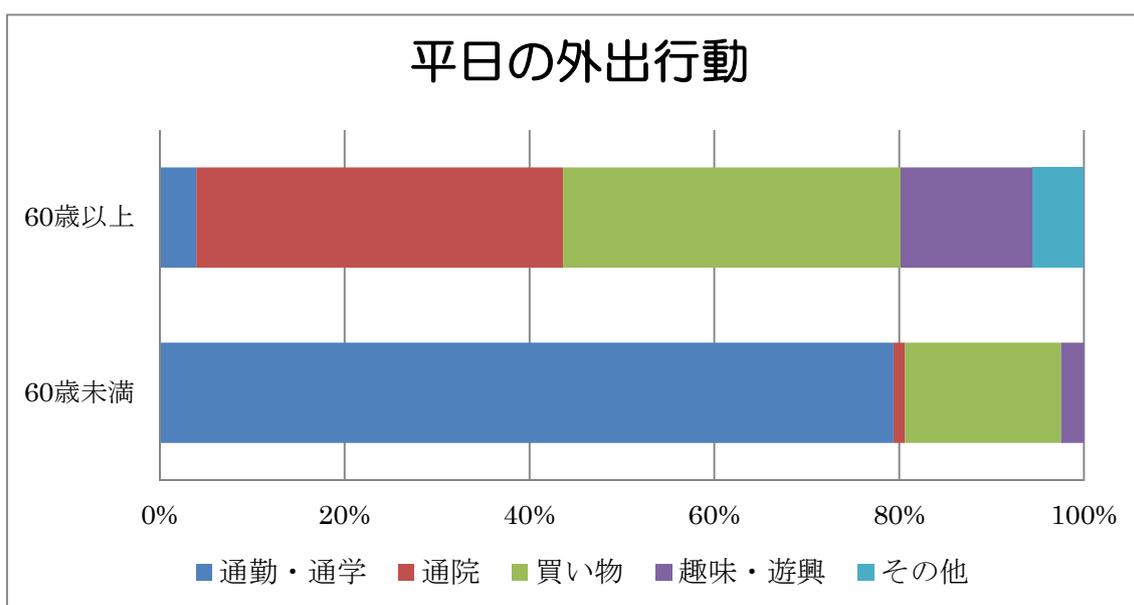
・アンケートは20歳未満から90歳以上まで幅広い結果となった。



(2) 外出行動

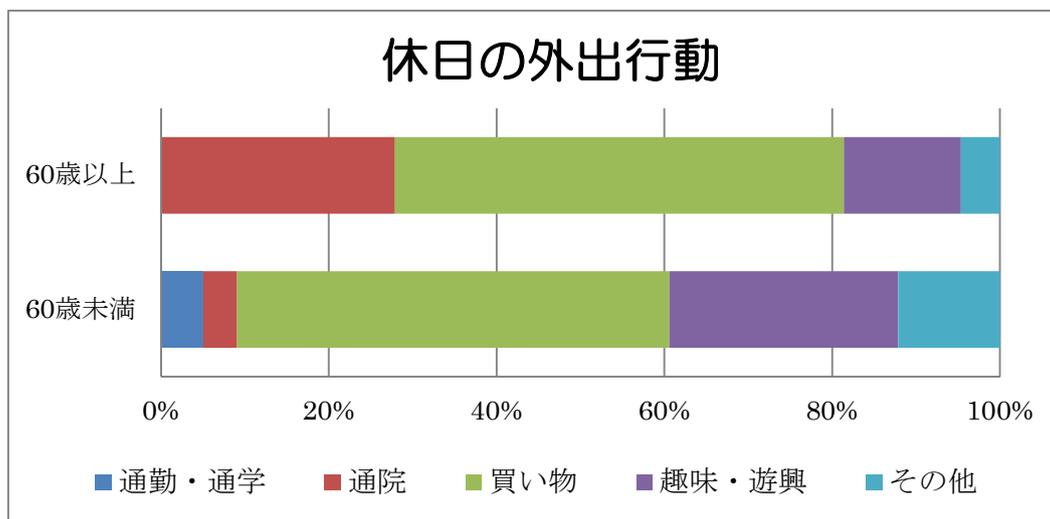
(2) - 1 平日について

- ・60歳未満の場合、「通勤・通学」が最も多く79%、次いで「買い物」で17%であった。
- ・60歳以上の場合、「通院」と「買い物」がほぼ同じ割合で一番多く約40%、次いで「趣味・遊興」で14%であった。



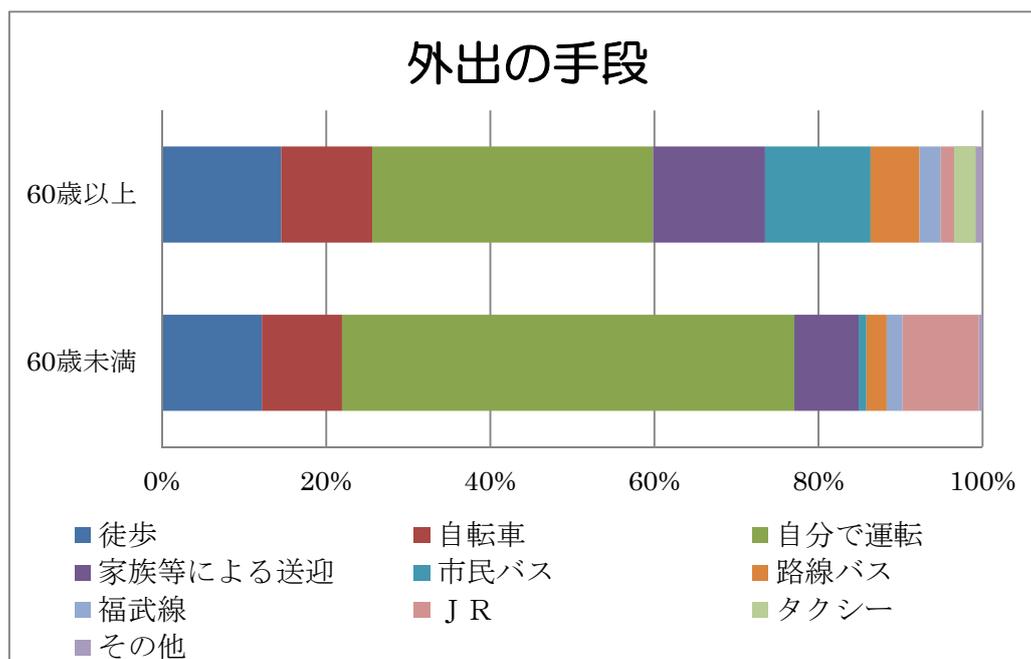
(2) - 2 休日について

- ・ 60歳未満の場合、「買い物」が最も多く52%、次いで「趣味・遊興」で27%であった。
- ・ 60歳以上の場合、60歳未満同様「買い物」が最も多く53%、次いで「通院」で28%であった。



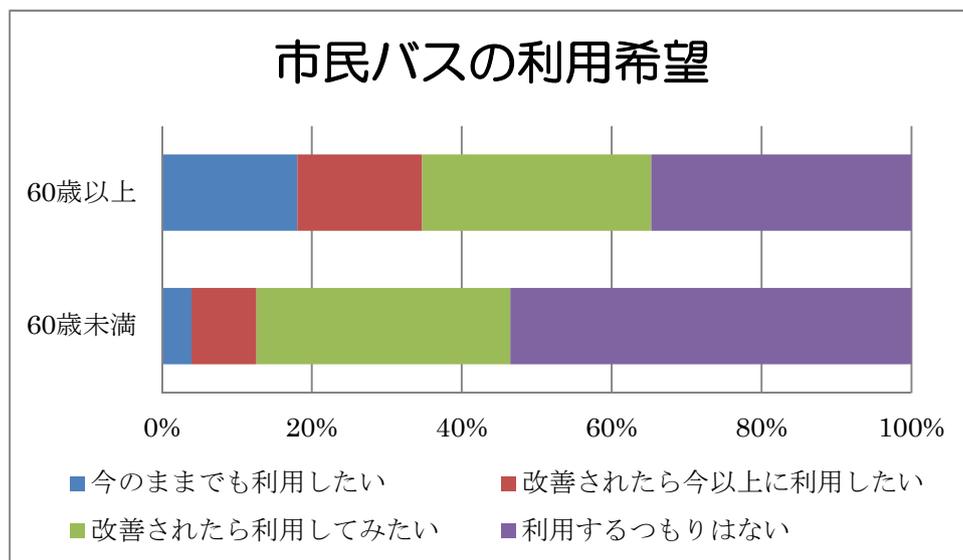
(2) - 3 外出の手段について

- ・ 60歳未満の場合、「自分で運転をする」人が最も多く55%であった。
- ・ 60歳以上の場合、「自分で運転をする」人が最も多いが34%となり、運転以外の外出手段として、「徒歩」、「自転車」、「家族等による送迎」、「市民バス」が挙げられ、それぞれほぼ同じ割合であった。



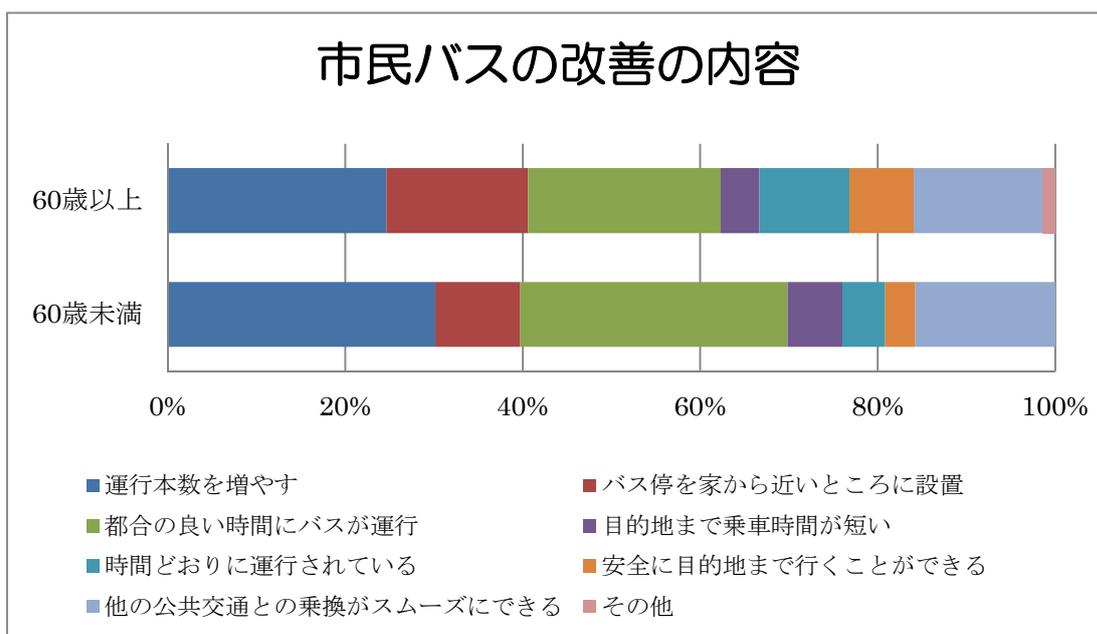
(3) 現在の市民バスの利用希望

- ・ 60歳未満の場合、「利用するつもりはない」が最も多く53%以上で、現状での利用を希望する人は4%であった。
- ・ 60歳以上の場合、「利用するつもりはない」が最も多く34%ではあったが、現状でも利用を希望する人は18%であった。



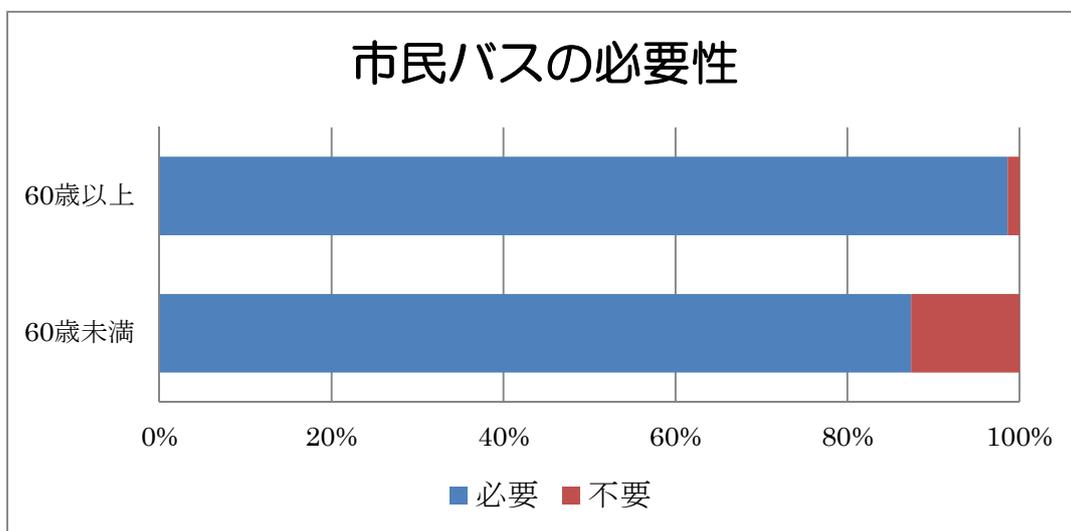
(4) 市民バスの改善の内容

- ・ 60歳以上・60歳未満もどちらも「運行本数を増やす」と「都合の良い時間にバスを運行させる」項目が同じ割合で最も多い改善の方法であった。



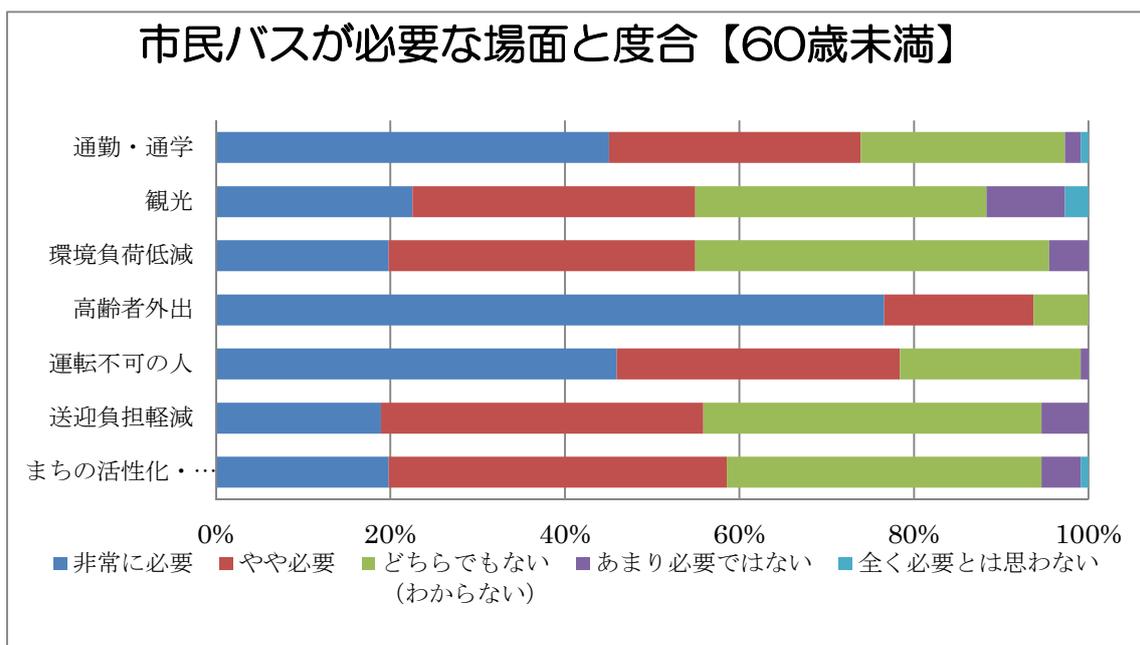
(5) - 1 市民バスの必要性

- ・ 60歳未満の場合87%の人が、60歳以上の場合98%の人が市民バスは必要であると回答。



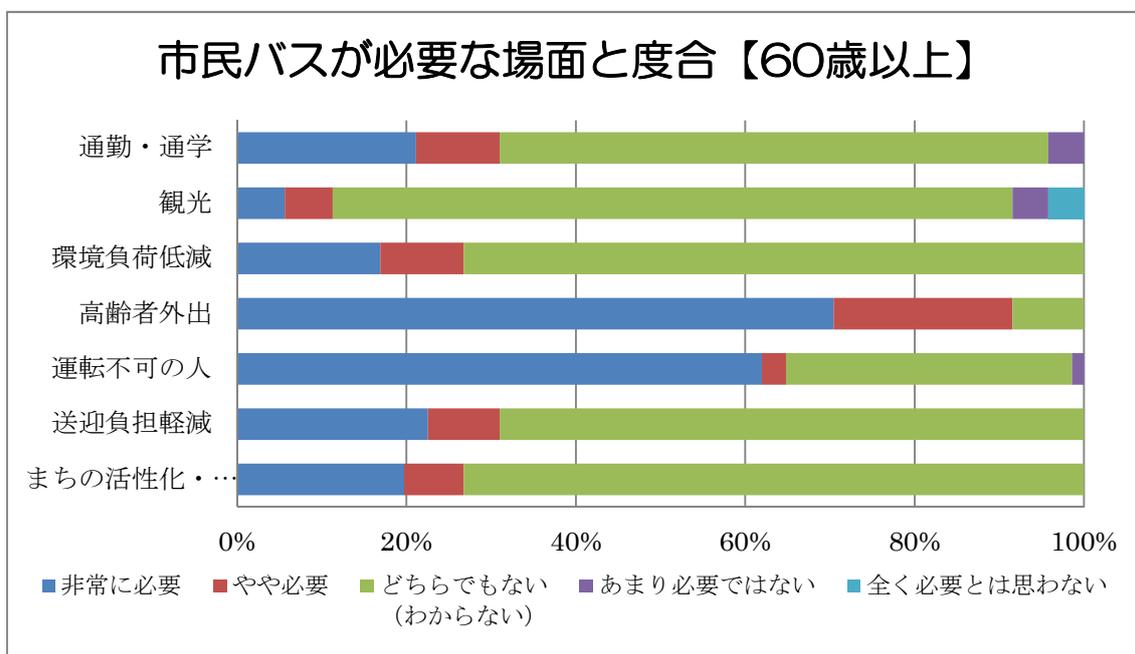
(5) - 2 市民バスが必要な場面とその割合 (60歳未満)

- ・必要と回答した人が最も多かったのは「高齢者の外出」のためであり94%であった。
- ・次いで「運転不可の人」、「通勤・通学」のためが多く、他はほぼ同じような割合であった。



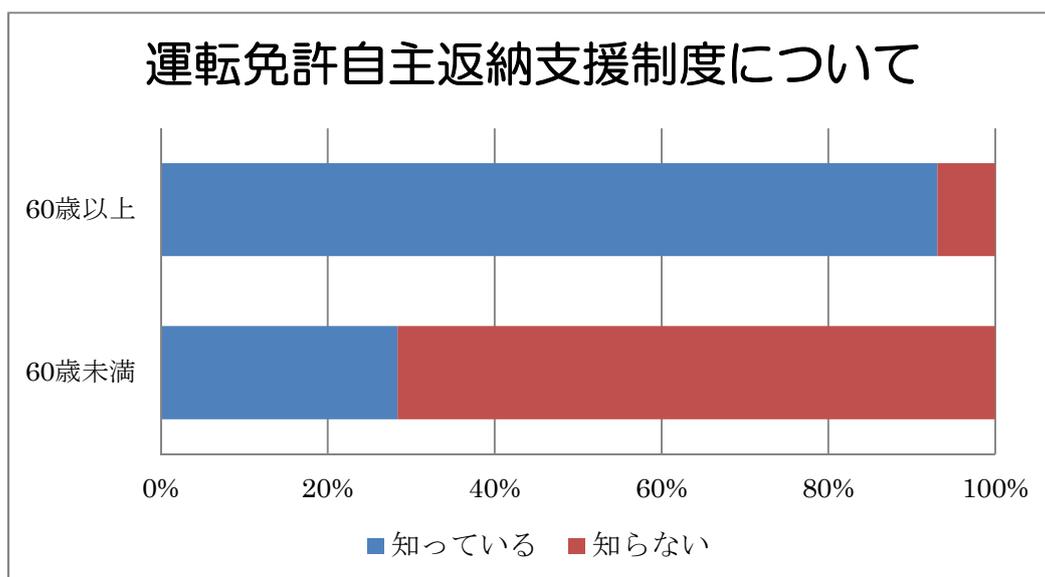
(5) - 2 市民バスが必要な場面とその割合 (60歳以上)

- ・必要と回答した人が最も多かったのは「高齢者外出」ためであり、92%であった。



(6) 運転免許自主返納支援事業周知状況

- ・60歳未満の場合、知っているとは回答した人は28%であった。
- ・60歳以上の場合、知っているとは回答した人は93%であった。



Q3 普段、外出する際の移動手段を教えてください。

(1) 普段の移動手段の中で当てはまるものに「○」を付けてください。(複数回答可)

1. 徒歩 (自分で歩く / 介助・車いすが必要)
2. 自転車
3. 自家用車 (自分で運転)
4. 自家用車 (家族等の送迎)
5. 市民バス
6. 路線バス
7. 福武線
8. JR
9. タクシー
10. その他 ()

(2) 普段、外出(通勤・通学、通院、買い物、趣味・遊興等)する際、市民バスを利用したいと思いますか？

1. 今のままでも利用したい
2. 改善されたら今以上に利用したい
3. 改善されたら利用してみたい
4. 利用するつもりはない。(⇒Q4へ進んでください。)

(3) 市民バスがどのように改善されることを望みますか。若しくはどのように改善されたら利用したいと思いますか？(複数回答可)

1. バスの運行本数を増やす
2. バス停が家から近い
3. 都合の良い時間にバスがある
4. 目的地まで乗車時間が短い
5. 時間どおりに運行されている
6. 安全に目的地まで行くことができる
7. 他の公共交通(路線バス、福武線、JR)との乗換がスムーズにできる
8. その他 ()

(4) 改善された場合、市民バスを新たにどのような目的で利用したいですか？(複数回答可)

1. 通学
2. 通勤
3. 通院
4. 買い物
5. 趣味・遊興
6. その他 ()

※(4)の回答が終了したら、Q4へ進んでください。

Q4 市民バスの必要性などについて。

(1) あなたは、越前市に市民バスは必要だと思いますか？

1. 必要だと思う(⇒(2)へ進んでください。)
2. 不要だと思う(⇒(3)へ進んでください。)

(2)(1)で『必要だと思う』と回答された場合、何のために必要だと思いますか？以下の各事項について、該当する番号を選んで下さい。

事 項	非常に必要 だと思う	やや必要だ と思う	どちらでもない (わからない)	あまり必要だ と思わない	全く必要だ と思わない
通勤・通学のため	1	2	3	4	5
観光のため	1	2	3	4	5
環境負荷低減のため	1	2	3	4	5
高齢者外出のため	1	2	3	4	5
今後車を運転しない・ できない時のため	1	2	3	4	5
送迎負担軽減のため	1	2	3	4	5
まちの活性化やまちづ くりの基盤整備のため	1	2	3	4	5
その他1()	1	2	3	4	5
その他2()	1	2	3	4	5

(3)「市民バス無料乗車券」が交付される運転免許自主返納支援制度をご存じですか？

1. 知っている 2. 知らない

※運転免許自主返納支援制度とは？

高齢者が加害者となる交通事故軽減のため、自主的に全ての運転免許を返納される65歳以上の越前市民に対して、最大10年間、市民バスを無料で利用できる乗車券を交付する制度です。

長時間にわたり、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
市民バスにつきまして、ご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。

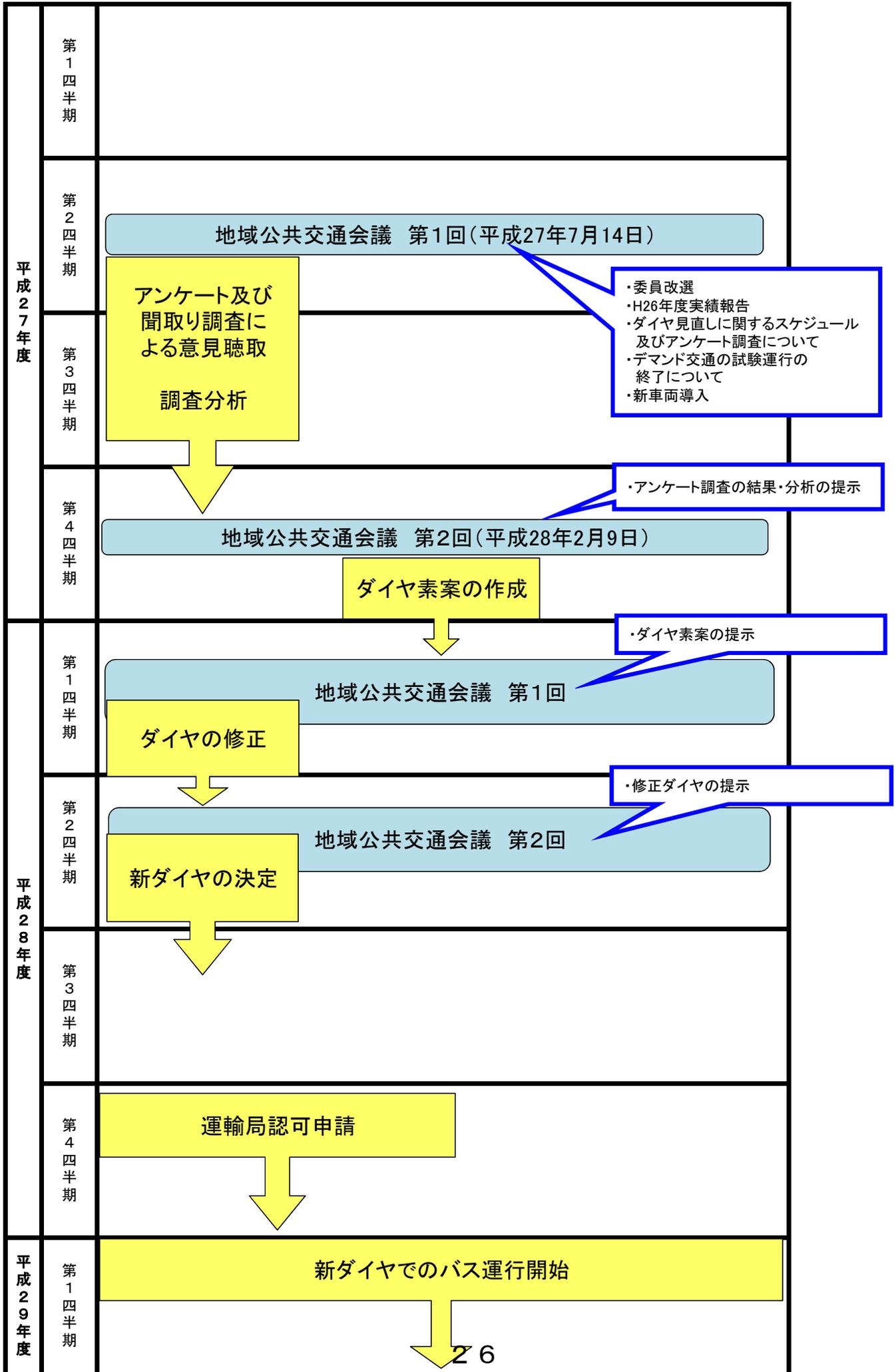
※お答えいただいた内容については、統計的に処理し、本調査の目的以外には使用いたしません。

ご協力、ありがとうございました。

《越前市企画部 まちづくり・交通対策課》

越前市市民バス「のろっさ」
ダイヤ見直し検討スケジュール

【資料7】



H 2 9 年度市民バスルート・ダイヤ改正の主な検討内容について

(1) 市街地循環ルートと郊外ルートの改正について

①市街地循環ルート

- ・商業施設へのバス停の新設とルートの延伸。
- ・引き続き他の公共交通機関との乗り換えに配慮したダイヤの改正。

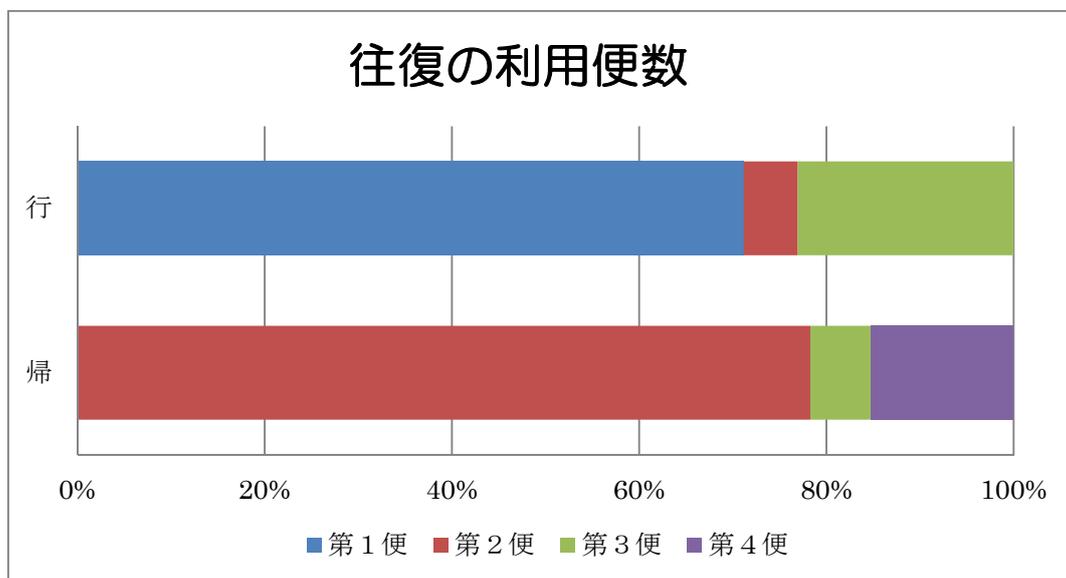
②郊外ルート

- ・国高・北日野ルートの第 2 便と第 3 便にゆとりを持たせるよう時間を調整。
(※下記グラフ参照)
- ・引き続き他の公共交通機関との乗り換えに配慮したダイヤの改正。

※国高・北日野ルートについて

(i) 利用者アンケート調査結果

- ・買い物や美容院という目的で第 2 便を利用して郊外へ外出し、第 3 便で帰宅する、という利用者がいた。



(ii) 聞き取り調査

- ・第 2 便と第 3 便の運行の間隔が短いことにより、用事を済ますための時間も短くなるため不便である、との意見があった。

(2) 越前市と鯖江市の接続の検討について

① これまでの経緯

- ・今立地区の住民の中には通院や買い物など、鯖江市へ行って用事を済ます人がいることが把握されている。
- ・市民バス利用者向けのアンケート調査において、鯖江市への通院や買い物を希望する方がいた。

② 鯖江市と越前市の接続のための検討内容（案）について

- (i) 市民バス水間ルートを活用した接続の検討
- (ii) 路線バス南越線（赤坂線）を活用した接続の検討

アンケート集計結果

<別紙1>

利用者住居	全体の占める割合	
東	8	7%
西	7	6%
南	17	14%
神山	5	4%
吉野	18	15%
国高	3	2%
大虫	5	4%
坂口	7	6%
王子保	9	7%
北日野	3	2%
北新庄	2	2%
味真野	6	5%
白山	11	9%
栗田部	0	0%
岡本	2	2%
南中山	3	2%
服間	12	10%
市外	4	3%
計	122	100%

利用者の年齢	全体の占める割合	
40代まで	6	5%
50代	6	5%
60代	19	16%
70代	48	39%
80代以上	43	35%
計	122	100%

利用者の性別	全体に占める割合	
男	23	19%
女	99	81%
計	122	100%

利用者の家族形態	全体に占める割合	
独居	42	34%
夫婦のみ	16	13%
家族同居	64	52%
無回答	0	0%
計	122	100%

市民バスの利用目的	全体に占める割合	
買物	36	27%
病院	48	36%
公共施設	8	6%
湯楽里	4	3%
その他	36	27%
計	132	100%

利用者の満足度	全体の占める割合	
大変満足している	38	31%
満足している	65	53%
不満である	14	11%
大変不満である	0	0%
わからない	5	4%
無回答	0	0%
計	122	100%

利用頻度	全体に占める割合	
市街地循環ルート		
無回答	2	4%
1・2回／年	1	2%
1・2回／半年	1	2%
1・2回／月	6	13%
1・2回／週	18	38%
3～5回／週	13	27%
ほぼ毎日	7	15%
計	48	100%

	全体に占める割合	
郊外ルート		
無回答	0	0%
1・2回／年	1	2%
1・2回／半年	1	2%
1・2回／月	9	16%
1回／週	14	25%
2回／週	30	53%
3回以上／週	2	4%
計	57	100%

	全体に占める割合	
今立ルート		
1・2回／月	5	29%
1・2回／週	9	53%
3・4回／週	2	12%
5回／週	1	6%
計	17	100%

免許の自主返納制度の周知	全体の占める割合	
知っている	43	35%
知らない	79	65%
無回答	0	0%
計	122	100%

車の有無	全体に占める割合	
有	13	11%
無	109	89%
計	122	100%

利用者がよく使う交通手段	全体の占める割合	
自家用車(自)	7	4%
自家用車(他)	26	16%
タクシー	33	21%
JR	18	11%
福鉄電車	12	8%
路線バス	16	10%
自転車	13	8%
その他	1	1%
ない	32	20%
無回答	0	0%
計	158	100%

利用者がよく使う曜日	市街地循環	郊外	今立
月曜日	14	16	1
火曜日	16	24	6
水曜日	28	4	1
木曜日	15	15	4
金曜日	24	5	3
土曜日	13	20	0
無回答	0	0	0
計	110	84	15

アンケート集計結果

<別紙2>

年齢

20歳未満	13
20歳代	41
30歳代	26
40歳代	20
50歳代	27
60歳代	6
70歳代	27
80歳代	36
90歳以上	3
計	199

性別

	60歳未満	60歳以上	全体
男	50	33	83
女	77	39	116
計	127	72	199

家族形態

	60歳未満	60歳以上	全体
独居	14	9	23
夫婦のみ	8	17	25
家族同居	105	46	151
計	127	72	199

職業

	60歳未満	60歳以上	全体
会社員・公務員	57	2	59
自営業	2	1	3
専業主婦・主夫	1	1	2
学生	49	0	49
パート・アルバイト	17	4	21
無職	0	56	56
その他	1	8	9
計	127	72	199

平日の外出行動

	60歳未満	60歳以上	全体
通勤・通学	127	5	132
通院	2	50	52
買い物	27	46	73
趣味・遊興	4	18	22
その他	0	7	7
計	160	126	286

休日の外出行動

	60歳未満	60歳以上	全体
通勤・通学	5	0	5
通院	4	12	16
買い物	51	23	74
趣味・遊興	27	6	33
その他	12	2	14
計	99	43	142

外出の手段

	60歳未満	60歳以上	全体
徒歩	25	17	42
自転車	20	13	33
自分で運転	113	40	153
家族等による送迎	16	16	32
市民バス	2	15	17
路線バス	5	7	12
福武線	4	3	7
JR	19	2	21
タクシー	0	3	3
その他	1	1	2
計	205	117	322

※その他…飲酒時の代行

市民バス利用希望者

	60歳未満	60歳以上	全体
今のままでも利用したい	5	13	18
改善されたら今以上に利用したい	11	12	23
改善されたら利用してみたい	43	22	65
利用するつもりはない	68	25	93
計	127	72	199

バスにどのような改善が必要か

	60歳未満	60歳以上	全体
運行本数を増やす	44	17	61
バス停を家から近いところに設置	14	11	25
都合の良い時間にバスが運行	44	15	59
目的地まで乗車時間が短い	9	3	12
時間どおりに運行されている	7	7	14
安全に目的地まで行くことができる	5	5	10
他の公共交通との乗換がスムーズにできる	23	10	33
その他	0	1	1
計	146	69	215

コミュニティバスの必要性

	60歳未満	60歳以上	全体
必要	111	71	182
不要	16	1	17
計	127	72	199

運転免許自主返納支援事業について

	60歳未満	60歳以上	全体
知っている	36	67	103
知らない	91	5	96
計	127	72	199

どんなときに市民バスは必要なのか、その度合い

<<全体>>

	非常に必要	やや必要	どちらでもない (わからない)	あまり必要ではない	全く必要とは思わない	計
まちの活性化・まちづくりの基盤整備	36	48	92	5	1	182
送迎負担軽減	37	47	92	6	0	182
運転不可の人	95	38	47	2	0	182
高齢者外出	135	34	13	0	0	182
環境負荷低減	34	46	97	5	0	182
観光	29	40	94	13	6	182
通勤・通学	65	39	72	5	1	182
計	431	292	507	36	8	1274

<<60歳未満>>

	非常に必要	やや必要	どちらでもない (わからない)	あまり必要ではない	全く必要とは思わない	計
まちの活性化・まちづくりの基盤整備	22	43	40	5	1	111
送迎負担軽減	21	41	43	6	0	111
運転不可の人	51	36	23	1	0	111
高齢者外出	85	19	7	0	0	111
環境負荷低減	22	39	45	5	0	111
観光	25	36	37	10	3	111
通勤・通学	50	32	26	2	1	111
計	276	246	221	29	5	777

<<60歳以上>>

	非常に必要	やや必要	どちらでもない (わからない)	あまり必要ではない	全く必要とは思わない	計
まちの活性化・まちづくりの基盤整備	14	5	52	0	0	71
送迎負担軽減	16	6	49	0	0	71
運転不可の人	44	2	24	1	0	71
高齢者外出	50	15	6	0	0	71
環境負荷低減	12	7	52	0	0	71
観光	4	4	57	3	3	71
通勤・通学	15	7	46	3	0	71
計	155	46	286	7	3	497